

関東十三菩提式期における大木6式土器について

安藤ゼミ4年 納美保子

卒業論文目次

第1章 はじめに	
第2章 十三菩提式土器	第5章 考察
第3章 研究史と問題点の整理	5-1 黒曜石
3-1 研究史	5-2 石器
3-2 問題の所在	5-3 住居
第4章 分析	5-4 関東出土の大木6式土器のあり方
4-1 分析対象	5-5 大木6式土器と大歳山式土器
4-2 大木6式土器の研究史概略	
4-3 関東十三菩提式土器と大木6式土器出土状況	第6章 まとめ
4-4 関東出土の大木6式土器	6-1 関東出土の大木6式土器が意味する所
4-5 今村氏による大木6式土器細分	6-2 今後の展望
4-6 関東出土の大木6式土器細分	

発表要旨

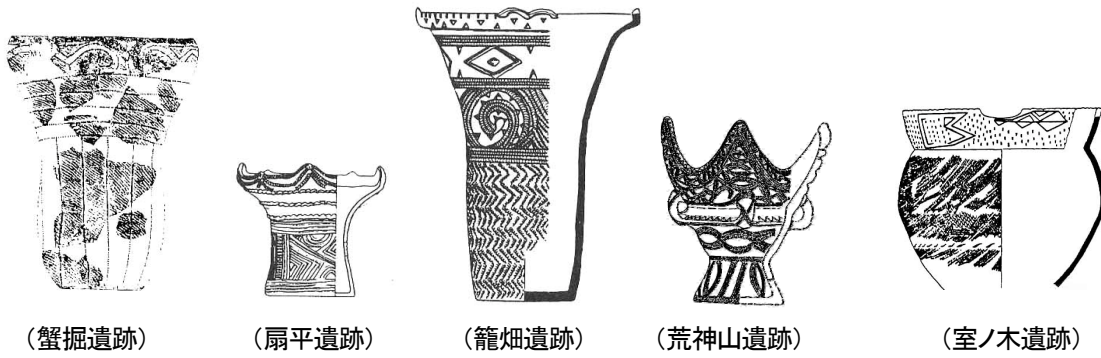
十三菩提式土器は川崎市にある十三菩提遺跡を標式遺跡とする土器型式で諸磯c式土器に、北陸の鍋屋町の系統が侵入し、大歳山式、大木6式、下小野式、踊場式、円筒下層式、など各地の土器の特徴が交じり合う中で成立したと考えられている。縄文時代前期末葉では十三菩提式の遺跡は他の時期に比べ圧倒的に少なくなり、遺跡の発見が少ない理由として、当時何らかの要因で人口が減少したという説や、ある一定期間で移動を繰り返すタイプの居住パターンに変化したという説、遺跡が残りにくい、発見しにくい場所に住むようになった説など複数ある。このように遺跡規模が縮小、減少する一方で、この時代は全国的に交流が活発になり、非常に広範囲の移動を繰り返していたことが土器や石器に現れている。その結果、各地の土器型式が複雑に絡み合っているため、その把握をますます困難にしていると考えられる。縄文時代前期末葉は未だ不明な点の多い時代であるといえる。

本論では関東地方の十三菩提式土器を出土する遺跡の中から共に出土する大木6式土器に絞って、当該期における異系統土器のあり方について分析を行っていく。当該期の関東地方には東北地方南部の土器である大木6式土器が出土するが、その器形は台付球胴形土器に限定される。これらの土器を今村氏が東北地方大木6式土器において行った細分に基づいて、5期に分類し、各時期の分布図を作成した。さらに、西日本の土器型式である大歳山式土器についても検討を行い考察する。

関東地方出土の大木6式土器は、東北地方の大木6式土器と全く同じ細分をすることができた。大木6式土器はまず関東地方南部に現れる。その後、関東全域に徐々に分布を拡大していき、4期がもっとも広く、密に分布し、5期になると再びその分布は南部に収縮する。また大歳山式土器は大木6式土器4期と同遺跡から出土すること、また十三菩提式土器の中心地以外からは出土しないことが分かった。同じ異系統の土器であってもそのあり方は大きく異なるのである。

引用参考文献

- 今村啓爾 2001 「十三菩提式前半期の系統関係」『土曜考古』25号 37-66頁 土曜考古学研究会
 今村啓爾 2006 「大木6式土器の諸系統と変遷過程」『東京大学考古学研究室研究紀要』20号 37-68頁 東京大学
 小林謙一 2004 『縄文社会研究の新視点—炭素14年代測定の利用—』 六一書房
 金子直行 1999 「縄文前期終末土器群の関係性」『縄文土器論集』177-209頁 縄文セミナーの会
 興野義一 1970 「大木式土器理解のために (VI)」『考古学ジャーナル』48 20-22頁 ニューサイエンス社
 小島俊彰他 1986 「十三菩提式土器様式」『縄文土器大観』 小学館
 白鳥良一他 1989 「前期大木式土器様式」『縄文土器大観』 小学館
 松田光太郎 1997 「十三菩提式土器」『研究紀要』2 18-20頁 神奈川考古資料刊行会
 松田光太郎 2002 「関東・中部地方における十三菩提式土器の変遷」『神奈川考古』38号 47-80頁 神奈川考古同人会
 山内清男 1937 「縄文土器系式の細別と大別」『先史考古学』1巻1号 29-32頁 先史考古学会



(蟹掘遺跡) (扇平遺跡) (籠畑遺跡) (荒神山遺跡) (室ノ木遺跡)

図1 十三菩提式土器

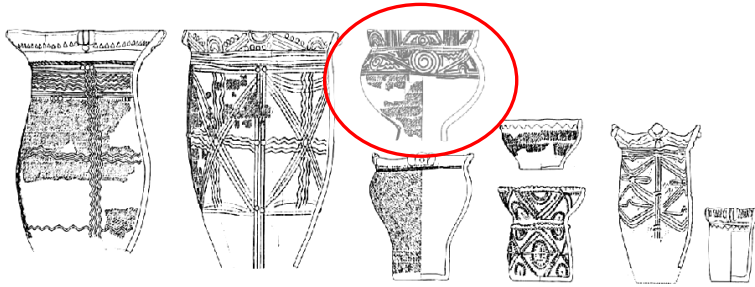


図2 大木6式土器

(『縄文土器大観』1989)

表1 縄文時代前期・中期の土器型式

	渡島	陸奥	陸前	関東	信濃	東海	畿内
前期	石川野× (+)	圓筒土器 下層式 (4型式以上)	室濱 大木 1 // 2a,b // 3-5 // 6	蓮田、花積下 山式 黒濱 諸磯 a,b 十三坊臺	(+) (+) (+) 踊場	鉢ノ木×	國府北白川 1 大歳山
中期	(+) (+)	圓筒土 a b (+) (+)	大木 7a // 7b // 8 a,b // 9, 10	御領臺 阿玉臺・勝坂 加曾利 E // (新)	(+) (+) (+) (+)		

(山内 1937・一部改変)

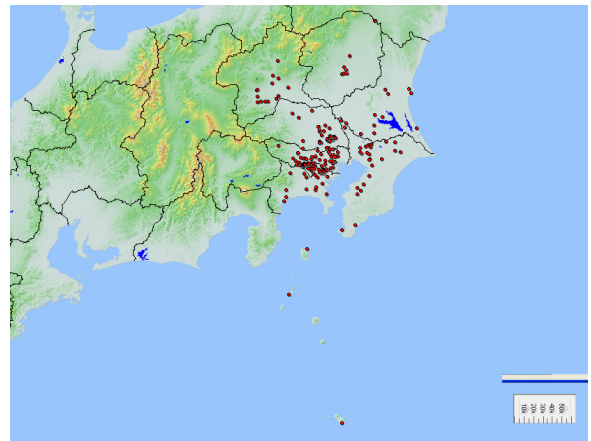


図3 十三菩提式器出土遺跡

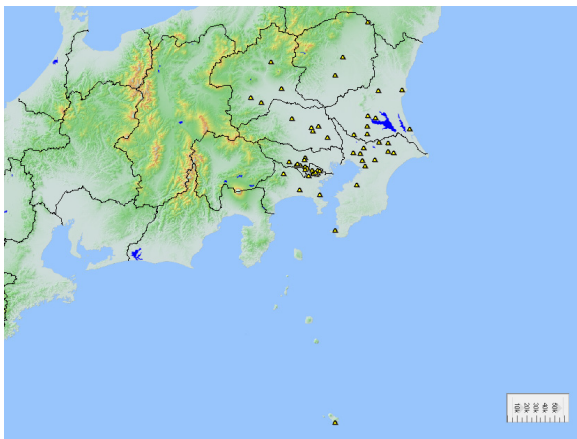


図4 大木6式土器出土遺跡

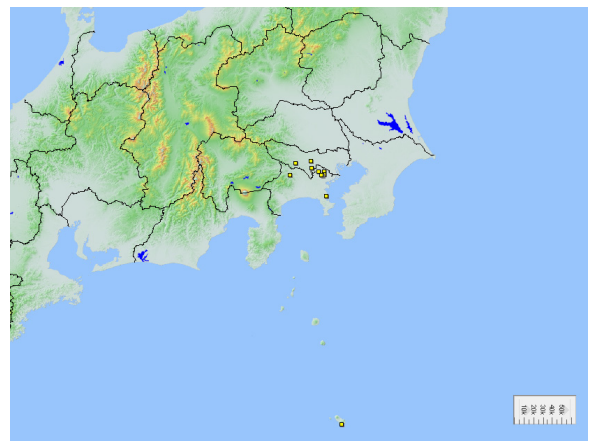
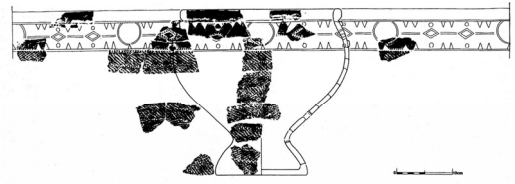
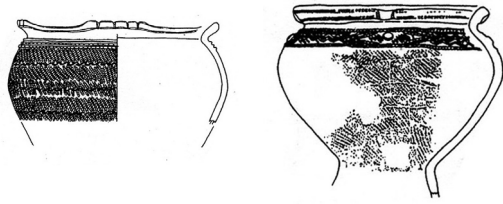


図5 大歳山式土器出土遺跡

大木 6 式土器 (今村 2006)

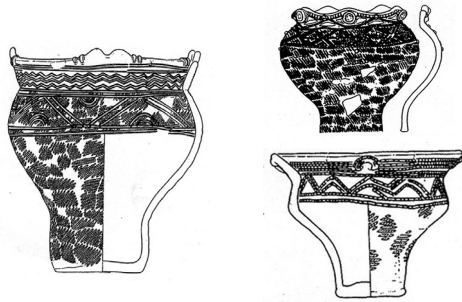
十三菩提式土器

1 期

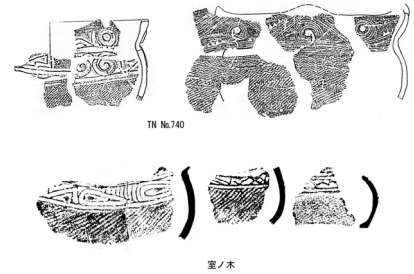
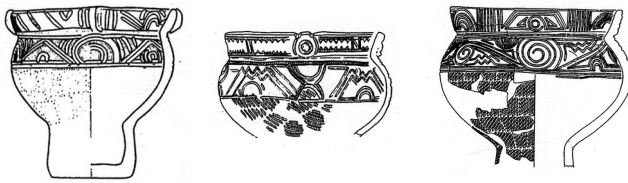


あざみ野

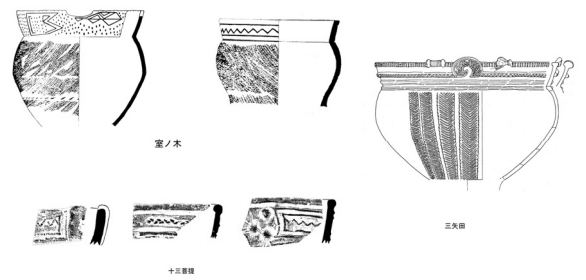
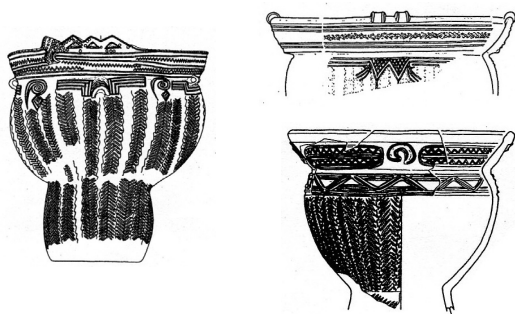
2 期



3 期



4 期



5 期

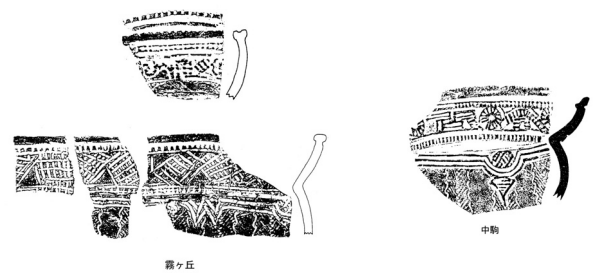
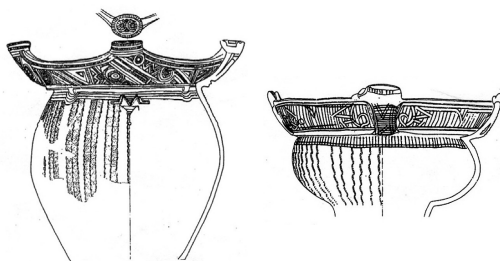


図 6 大木 6 式土器、関東大木 6 式土器細分図

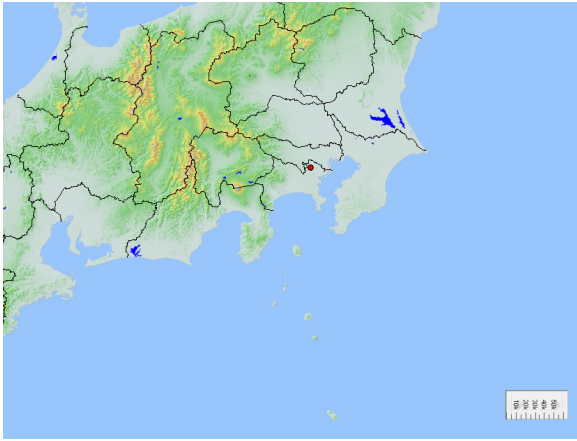


図 7 関東出土大木 6 式土器 1 期分布図

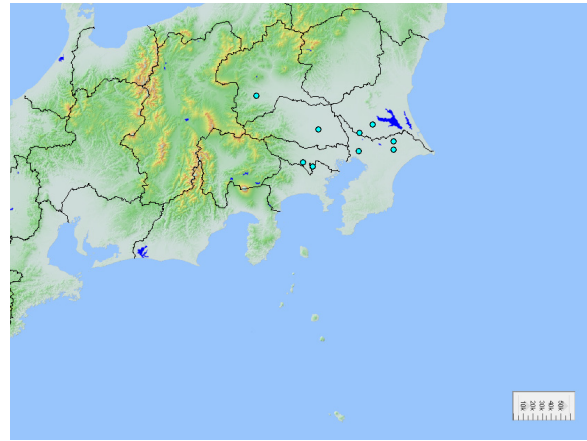


図 8 関東出土大木 6 式土器 2 期分布図

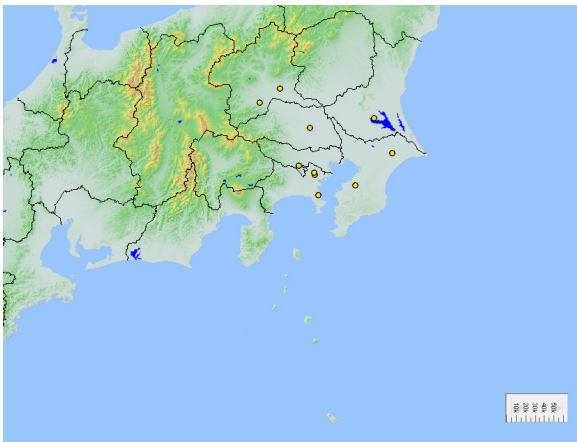


図 9 関東出土大木 6 式土器 3 期分布図

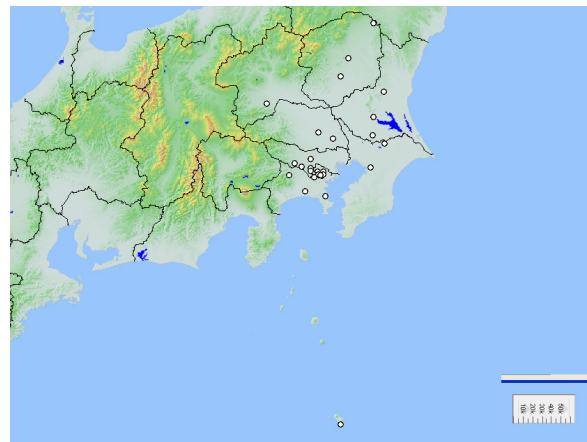


図 10 関東出土大木 6 式土器 4 期分布図

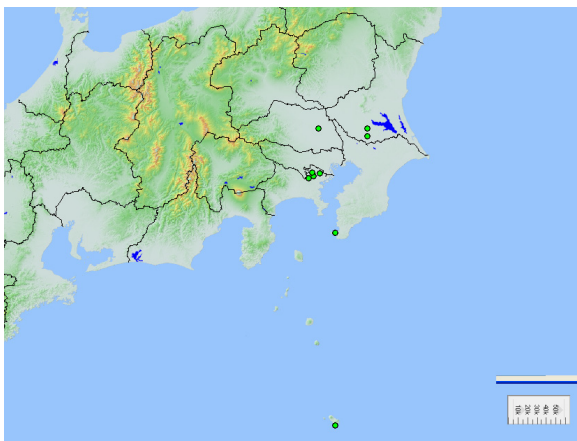


図 11 関東出土大木 6 式土器 5 期分布図

カシミール 3D 使用